



面談し作業内容や雇用条件を確認

4/22

園芸農家の労働力を確保 J A 無料職業紹介所 グリーンワーク

園芸農家の労働力確保につなげるため、農作業パート・アルバイトマッチング会を管内2会場で開催しました。園芸農家と求職者の面談形式で行われ、園芸農家は求職者に作業内容や労働条件などを説明し、互いに希望する条件などを確認していました。

4/18

立派なおいもに育ってね いってみっぺし藤沢



一生懸命に種芋を植える子どもたち

藤沢地域の子どももの居場所づくりと世代間交流事業「たてやまプラザ」に参加する園児・児童8人は、J A 女性部藤沢中央支部の指導でジャガイモの定植体験をしました。「きたあかり」の種芋を、芽が上になるよう注意しながら植え、大きく育つよう願いました。

5/7

高品質なレタスの出荷へ J A 野菜部会レタス専門部



レタスを見ながら情報共有する生産者

出荷規格指導会をJ A 南部園芸センターで開きました。搬入されたレタスを見ながら、出荷規格や箱詰め時の注意点などを共有し、高品質なレタスの出荷に向け、意識統一を図りました。出荷数量3800キ、販売金額60万8000円を目指します。

4/24

管理機の操作の仕方学ぶ J A 女性部川崎中央支部



管理機の操作の仕方を学ぶ部員

巻畑農家組合（川崎）と合同で安全講習会を開きました。（株）ISEKIジャパンの大道夫課長代理を講師に、管理機の安全な使い方を学びました。第2回畑の講習会も同時開催し、部員15人が参加。耕起した畑にジャガイモの種芋とニンジン種の種まきをしました。

5/14

農作業通じ地域農業学ぶ



水稻苗をハウスに並べる作業をする新人職員

新人職員農業研修を行い、入組1年目の職員5人がJ A 川崎水稻育苗センターで、育苗作業や苗の引き渡し作業を体験しました。農業体験を通じて、地域農業に理解を深めるとともに組合員の立場に立った対応ができる職員の育成を目指します。

5/1
畜産の振興と安全を願う

J A が指定管理を受けている公共牧場の令和 8 年度開牧式と安全祈願祭を室根高原牧場で開き、管内の畜産振興とシーズン中の安全を祈願しました。須川牧場を閉鎖したことにより、今年 4 月から室根高原牧場に機能集約し、粗飼料の収量増大も計画しています。



畜産振興と安全を祈願し玉串をささげる
 佐藤一則組合長

5/11

作業効率化ドローン活用
 (農)ファーム滝沢 (一関)



ドローンでの散播作業を見守る関係者

作業の効率化と労働力軽減を図るため、J A 全農いわてに業務委託し、ドローンによる発酵粗飼料(ホルク ロップサイレージ)用稲の種子湛水直播を行いました。昨年より 1・3畝広い 11・3畝に、鉄コーティングした種子 768キを散播しました。

5/14

ハウスの水の管理学ぶ
 一関農業改良普及センター



高温期の栽培管理を学ぶ生産者

環境モニタリング データ活用による施設 ナス管理研修会を開きました。J A 管内のナス生産者や関係機関など 40 人が参加し、座学研修やデータを利用した生育管理に取り組む千葉琢磨さん(花泉)のハウスを見学し、施設園芸における水管理の重要性を学びました。

5/13

秋の収穫に期待を込めて
 赤荻小学校 (一関)



「コシヒカリ」の苗を植える児童

5 年生 47 人は、阿部邦弘さん(一関)の所有する 5 町の田んぼで田植えを体験しました。阿部さんや地域住民から手ほどきを受け、「コシヒカリ」の苗を手で植えました。慣れた様子で手際よく進める子や慎重に丁寧に植える子など、さまざまな姿が見られました。

5/14

機械植えとの違いも体感
 厳美小学校 (一関)



農家に教わりながら田植えをする児童

5 年生 10 人は、地元農家の佐藤克徳さん(一関)や地域住民と一緒に、田植えを体験しました。事前に佐藤さんから苗の植え方を学び、3 町の水田に「ひとめぼれ」の苗を手で植えた他、佐藤さんが操縦する田植え機に同乗し、機械植えの様子も見学しました。

小学生とJAとのふれあいイベント「わくわく純情プランター」を開きました。JA管内の小学校に通う児童31人と保護者が参加。ミニトマトの植え付け体験やJA米集出荷センター輝の見学、クイズ大会などを楽しみました。イベントは全3回開催予定です。

5/16

JA知って 身近に感じて



協力してミニトマトの苗を植える親子



丁寧に水稻苗を植え進める児童

5年生25人は、(農)門崎ファームの所有するメダカがすむ田んぼで田植えを体験しました。ファーム組合員が紙芝居形式で植える手順を説明した後、児童ははだしで田んぼに入り、苗を植えました。田植えを通し、環境に配慮した農業についても理解を深めました。

5/14

メダカのすむ田んぼで 川崎小学校



手作業で苗を植える参加者

生活クラブ生協岩手との田植え交流会を開きました。生協組合員や地元農家など約80人が参加し、県オリジナル品種「銀河のしずく」の苗を手で植えた他、機械植えの様子を見学しました。昼食では、おにぎりとお汁を食べながら感想などを話し、親睦を深めました。

5/24

田植え通して親睦深める 都里夢米生産振興協議会 (一関)



保護者と田植えをする園児

JA一関青年部中里支部の指導で、年長児35人が田植えを体験しました。あいにくの雨の中、4月に種をまき、園庭で育てたもち米の苗を、泥んこになりながら保護者と協力して植えました。10月には稲刈りを行い、11月には餅つきを体験する予定です。

5/22

もちつき楽しみに田植え 龍澤寺こども園 (一関)



はだしで「こがねもち」の苗を植える児童

5年生35人は、千葉健一さん(東山)が所有する田んぼで田植えを体験しました。千葉さんや地元農家の指導で、「こがねもち」の苗を保護者と一緒に手作業で植えました。中には泥んこになって笑い合う姿も見られ、楽しい時間を通して農作業を学びました。

5/19

泥んこ姿で楽しく田植え 東山小学校